

開催日時 令和6年2月22日（木曜日） 午後3時30分から午後5時まで

開催場所 大手公民館2階 大会議室

出席者（敬称略）

委員 降旗都子（委員長）、丸山宗志（副委員長）、多田健、一ノ瀬知佐子、永塚博、鳥羽弘幸、山下京子、百瀬壽、倉澤聡、櫻井美智代、中島麻衣
（欠席：赤羽勝、田村貴以子、平林洸）

事務局 地域づくり担当 課長補佐 床尾拓哉、事務員 稲場毅人
市民活動推進担当 主事 田中優子
ユースサポート担当 主事 小山雄聖

1 開会

（降旗委員長）

2 あいさつ

（降旗委員長）

3 前回議事録の確認

（降旗委員長）

- ・ 開催通知とともに事前に送付した。
- ・ これまでに修正等の申し出はない。このまま確定として良いか。

<意見等>

※ なし

→確定版を市公式ホームページに掲載

4 会議事項

(1) グループレポート骨子案の全体共有

（降旗委員長）

- ・ 前回、各グループに骨子案の作成を依頼し、リーダーから事務局へ提出いただいた。
- ・ 本日は初めにグループの代表者から簡単に内容を説明いただき、それに対する質疑や意見交換を行う。

（中島委員）

※ Aグループの骨子案について説明

<意見・質問等>

（百瀬委員）

- ・ 町会運営では個人情報保護法が障壁となり身動きが取れない状況となっているのではないかと。

(永塚委員)

- ・ 地域行事を企画する企画能力にも問題があるのではないかな。興味を引く面白い内容を考えることも大切。

(鳥羽委員)

- ・ 公民館清掃など身近な場で活動を知ってもらう取組みが効果的ではないかな。

(山下委員)

※ Bグループの骨子案について説明

<意見・質問等>

(多田委員)

- ・ 居酒屋公民館は参加者が固定化されてしまい、新しい人は入りにくいのではないかな。また、家に残された家族はどう思っているのだろうか。
- ・ 負担感がない町会活動はないと思う。負担感とどう付き合っていくかが重要。

(中島委員)

- ・ ニーズ把握のためのアンケートは効果的だった。高齢者に対してはヒアリングを併用するなど個別対応も必要だと思う。しかし、改まって時間を設けると負担感につながるため、何かのついでに聞くなど工夫が必要。

(一ノ瀬委員)

- ・ 民生委員を身近な相談役として活用してほしい。
- ・ 地域活動をやりたいという人もいる。意欲のある人を巻き込むことも考えるべき。

(倉澤委員)

- ・ 自分事化への取組みが必要ではないかな。
- ・ 自分事と捉えやすい防災と絡めることも重要だが、その他の取組みへ繋げることも考えるべき。

(倉澤委員)

※ Cグループの骨子案について説明

<意見・質問等>

(櫻井委員)

- ・ 昔のように子どもは地域で育てるという意識が必要。本来は子どもに対して大人がサポートしすぎず、見守ることが望ましいと思う。しかし、核家族化の影響で、親の責任で子育てをしなくてはいけない状況になっている。そのため親をサポートすることも必要ではないかな。

(多田委員)

- ・ P T Aの解散は質の高い教育の提供に逆行しているのではないかな。

(永塚委員)

- ・ 学校や塾、稽古ごとに任せすぎて子どもの世界が狭まっている。やりたいことがはっきりしている子どもはいいが、そうでない子どもについては、自由に遊べる時間を与えることが必要ではないか。

(鳥羽委員)

- ・ 地域への愛着は子どもたちが行事等に主体的にかかわり、考え、実践することで生まれてくるものだと思う。

(降旗委員長)

- ・ そのほか、意見や質問等はあるか。

<意見・質問等>

※ なし

(2) ワーキンググループによるグループワーク

(降旗委員長)

- ・ 残りの時間はグループワークとするが、その前に改めて今後のスケジュール等の説明を事務局から願います。

(事務局 稲場)

- ・ グループレポートの提出期限や本日のワークにおける注意事項を説明。

(降旗委員長)

- ・ ここまでの説明で質問や意見等はあるか。

<意見・質問等>

※ なし

(降旗委員長)

- ・ ここからはグループワークの時間とする。グループレポート提出に向けて準備を行っていただきたい。

<グループワーク>

※ 下記の3グループに分かれて議論

Aグループ

住民自治…若者の地域参加、多世代交流、女性の参画、移住者とのつながり、
オンラインの活用

Bグループ

地域福祉…防災、地域行事、顔の見える関係、町会組織の在り方、プライバシー

Cグループ

学習・教育…地域を知る、地域環境・資源の活用、アウトプット

(3) その他

(ユースサポート担当 小山)

※ 若者チャレンジ応援事業補助金の交付を受けた団体などが参加する若者チャレンジカンファレンス（3月8日（金）松本市立博物館 講堂）の告知

(事務局 稲場)

※ 事務連絡

(以上)